

① 「子どもとの大切なコミュニケーション」(子どもの人権)

実践する場面

- (1) 対象者 PTA会員等(小・中・高校生の子どもがいる保護者等)
- (2) 所要時間 90分

活動のねらい(ポイント)

- (1) コミュニケーションの大切さに気づく。
- (2) 子どもの人権を尊重することや自己肯定感を育むことを意識しているかをふりかえる。

準備するもの

カード、付箋、ワークシート1・2、資料

進め方(展開例)

時間	学習の流れ(活動・内容)	留意事項	備考(資料)
導入 20分	<p>◆学習の確認(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会のねらい ・日程 ・参加体験型学習における約束 <p>◆アイスブレイキング(15分)</p> <p>「何が出るかな自己紹介」</p> <p>①じゃんけんをして勝った人から順番にカードを引き、自己紹介とカードに書いてあるテーマについて話す。</p> <p>②他の人は発表内容を聞いてよいところを見つけ、理由を添えてほめる。</p> <p>③自己紹介をした人はお礼をいい、役割を交代する。</p> <p>④ふりかえりを行い、感想を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・[参加体験型学習の約束]の内容を伝える。 →P. 4(5)の1参照 ・4人程度のグループで行う。 ・グループ毎にテーマが書いてある8枚のカードを準備する。 ・早く終わったら2周目に入る。 ・発表後、感想を生かしながらまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カード →P.11
<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介の他にテーマについて話を聞くことによって、より相手を知ることができる。 ・この体験をとおしてコミュニケーションの大切さに気づく。 ・よいところを見つけてほめてもらうことが、自己肯定感を高めることにつながることに気づく。 			
展開 65分	<p>◆アクティビティ1(30分)</p> <p>「子どもの心の短歌」</p> <p>①「子どもの心の短歌」を読んで、大人のどんなふるまいや表現、言葉などが子どもの心を傷つけるかを個々で考え、付箋に書き出す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・付箋を1人5枚とワークシート1を配付する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・付箋 ワークシート1 →P.12

	<p>②グループでお互いの付箋を見て、意見交換をする。</p> <p>③子どもの心を傷つけてしまうふるまいや表現、言葉にはどういう共通点や特徴があるかを話し合う。</p> <p>④グループで出た意見を全体に発表し、共有する。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・何気ない親の一言やふるまい等が、子どもの心に残ることに気づく。 ・子ども一人ひとりが人間として尊重され、人権が守られる中で成長していくことが大切であると感じる。 			
	<p>◆アクティビティ2（30分） 「言い方を考えてみよう」</p> <p>①「事例1」を読んで、「攻撃的な言い方（例）」ではなく、「子どもの気持ちを尊重し、しかも自分の思いも伝えようとする言い方」について個々で考え、ワークシートに記入する。</p> <p>②グループで、それぞれどんな言い方になるかについて意見交換する。</p> <p>③「事例2・3」についても同様に、子どもの気持ちを尊重した言い方を個々で考え、意見交換する。</p> <p>④グループで出た意見を全体に発表し、共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート2を配付する。 ・資料を用いて、「アサーティブな表現」等を紹介し、学びの深まりを促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート2 →P.13 ・資料 →P.14
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの気持ちを尊重した言い方について考え、子どもとのよりよいコミュニケーションのあり方について理解を深める。 			
	<p>◆ふりかえり（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクティビティ1、2をとおして考えたこと、気づいたことを中心にふりかえる。 ・グループで出された意見を全体へ発表する。 		
<p>まとめ 5分</p>	<p>◆まとめ（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーターの話を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動のねらい（ポイント）をおさえる。 	

<参考資料など>

「じんけん実践ガイド」栃木県教育委員会（平成16年3月）

「元気が出る人権学習」栃木県教育委員会（平成20年3月）

私の
好きな食べ物

私の
好きな場所

最近
感動したこと

私の趣味

私の
好きな季節

挑戦して
みたいこと

行ってみたい
観光地

興味がある
家電製品

子どもの心の短歌

ほくだって
いいたいことは
あるけれど
子どものくせにや
あきうめる

気まぐれに
ほめた母の
一言を
うれしくベッドで
くりかえす

兄ちゃんを
呼ぶならほくは
「弟ちゃん」
○○と呼んだら
返事せん

また今日も
次から次へと
塾通い
ねむさうらえて
休むひまなし

<参考資料など>

「じんけん実践ガイド」栃木県教育委員会（平成16年3月）

言い方を考えてみよう

【事例1】 今日学校で習字があったのでしょうか。小学3年生の子どもが、新しくおろしたばかりの服に墨汁をつけて学校から帰ってきました……。

攻撃的に言うと……



（例）何やっているの！せっかくの新しい服なのに。今日、習字があることがわかっていたらちがう服を着ていけばよかったのに。困るなあ…。洗濯してもおちないよ！

子どもの気持ちを尊重し、しかも自分の思いも伝えるように言うと……

【事例2】 小学4年生の子どもが、「宿題が終わっていないので、明日、学校に行くのいやだなあ。」と夜の就寝前に話してきました……。



子どもの気持ちを尊重し、しかも自分の思いも伝えるように言うと……

【事例3】 中学1年生の子どもが、毎日勉強もせず、そのうえ食事中にまで携帯電話をいじっています……。



子どもの気持ちを尊重し、しかも自分の思いも伝えるように言うと……

<参考資料など>

「元気が出る人権学習」栃木県教育委員会（平成20年3月）

アサーティブな表現の例

※「アサーティブ」な表現についてはP.2参照

【事例1】 小学3年生の子どもが、新しくおろしたばかりの服に墨汁をつけて学校から帰ってきたとき。

アサーティブな表現	今日は授業で習字をがんばったんだね。 一生懸命書いていたから、洋服に墨がついてしまったことを気づかなかったかな？ 今度、授業で習字があるときは、汚れが目立たない黒っぽい服を着ていくと、気にしないで、習字をすることができると思うよ。
攻撃的な表現	何やっているの！せっかくの新しい服なのに。今日、習字があることわかっていたらちがう服を着ていけばよかったのに。困るのなあ。洗濯してもおちないよ！。

【事例2】 小学4年生の子どもが、「宿題が終わっていないので、明日は学校に行くのいやだなあ。」と夜、就寝前に話していたとき。

アサーティブな表現	宿題ができていないと、学校行くのはいやだよな。 お母さん／お父さんもいっしょに起きていてあげるから、宿題頑張ってみない？
	宿題ができていないと、学校行くのはいやだよな。 今日はもう遅いから、明日早起きしてやっつけていこうか？
	宿題ができていないと、学校行くのはいやだよな。宿題を終わらせるにはどうしたら良かったのかな？ 次はそうできるといいね。明日、先生に次はそうすることを話してみたら？
攻撃的な表現	だから、早く宿題やりなさいっていったのに……。自分がやらなかったのだから仕方ないでしょ。先生に謝りなさい。

【事例3】 中学1年生の子どもが、毎日勉強もせず、さらには食事中にまで携帯電話ばかりいじっているとき。

アサーティブな表現	携帯電話って楽しいんだね。いつも持っているものね。 食事は味わって食べてもらいたいな。それから勉強は大丈夫なのかな？ 毎日の積み重ねが大切だよ。自分のためにも携帯電話の使う時間を決めておこうね。
攻撃的な表現	いつも携帯電話ばかりいじっていないで、たまには勉強をしなさい。 食事中の携帯電話は禁止だよ。言うこと聞かないと携帯電話とりあげるよ。

●話すときは「アイ・メッセージ（私（たち）は・・・と思う）」で

よりよいコミュニケーションのためには、自分を主語にした「アイ・メッセージ」も効果的です。
例：そんなことしていいと思っているの？→あなたがそんなことしたら、私は悲しいよ。

●表情は、言葉以上にものを言う

アサーティブな表現で話しても、にらみつけるような表情で言ってしまったらどうでしょうか。話すときの表情も大切にしましょう。